



Japan  
Food  
Research  
Laboratories

## 試験報告書

第 299080377-003 号

依頼者 アサヒプリテック株式会社

検体 アクアプロ21Rによる生成水

試験項目 マウスを用いた急性経口毒性試験

平成 11 年 08 月 19 日 当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 11 年 10 月 15 日

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒583-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号

## マウスを用いた急性経口毒性試験

### 要 約

アクアプロ21Rによる生成水を検体として、OECD化学物質毒性試験指針(1987)に準拠し、マウスを用いた急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

試験群には50 mL/kgの用量の検体を、対照群には原水(水道水)を雌雄マウスに単回経口投与した。その結果、試験動物に異常及び死亡例は認められなかった。したがって、検体のマウスにおける単回経口投与によるLD50値は、雌雄ともに50 mL/kg以上であるものと考えられた。

### 依 頼 者

アサヒプリテック株式会社

### 検 体

アクアプロ21Rによる生成水

### 試験実施期間

平成11年9月21日～平成11年10月15日

### 試験実施場所

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所  
東京都多摩市永山6丁目11番10号

## 1 試験目的

検体について、OECD化学物質毒性試験指針(1987)に準拠し、マウスにおける急性経口毒性を調べる。

## 2 検 体

アクアプロ21Rによる生成水

備考：検体は、依頼者により設置されたアクアプロ21Rを用いて試験実施場所において調製した(設置日：平成11年8月20日)。

## 3 試験液の調製及び有効塩素濃度の測定

検体及び原水は単回経口投与前に採取し、検体についてはよう素滴定法により、有効塩素濃度を測定した。

## 4 試験動物

4週齢のICR系雌雄マウスを日本エスエルシー株式会社から購入し、約1週間の予備飼育を行って一般状態に異常のないことを確認した後、試験に使用した。試験動物はポリカーボネート製ケージに各5匹収容し、室温 $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、照明時間12時間/日に設定した飼育室において飼育した。飼料[マウス、ラット用固型飼料；ラボMRストック、日本農産工業株式会社]及び飲料水(水道水)は自由に摂取させた。

## 5 試験方法

試験群及び対照群ともに雌雄それぞれ10匹を用いた。

投与前に約4時間試験動物を絶食させた。体重を測定した後、試験群には検体を、対照群には原水(水道水)を、雌雄ともに50 mL/kgの用量で胃ゾンデを用いて強制単回経口投与した。

観察期間は14日間とし、投与日は頻回、翌日から1日1回の観察を行った。投与後7及び14日に体重を測定し、t-検定により有意水準5 %で群間の比較を行った。観察期間終了時に動物すべてを剖検した。

## 6 試験結果

### 1) 有効塩素濃度

測定値は38 mg/Lであった。

### 2) 死亡例

雌雄ともに観察期間中に死亡例は認められなかった。

### 3) 一般状態

雌雄ともに観察期間中に異常は認められなかった。

### 4) 体重変化(表-1及び2)

投与後7及び14日の体重測定では、雌雄ともに各群間で体重増加に差は見られなかった。

### 5) 剖検所見

観察期間終了時の剖検では、雌雄ともにすべての試験動物の主要臓器に異常は見られなかった。

## 7 考 察

検体について、OECD化学物質毒性試験指針(1987)に準拠し、マウスを用いた急性経口毒性試験(限度試験)を実施した。

検体を50 mL/kgの用量で雌雄マウスに単回経口投与した結果、死亡例は見られず、剖検時にも異常は見られなかった。したがって、検体のマウスにおける単回経口投与によるLD50値は、雌雄ともに50 mL/kg以上であるものと考えられた。

表-1 体重変化(雄)

投与群	投与前	投与後(日)	
		7	14
試験群	26.6±0.8 (10)	33.1±1.4 (10)	37.6±1.4 (10)
対照群	26.6±0.7 (10)	32.9±1.8 (10)	36.2±2.2 (10)

体重は平均値±標準偏差で表した(単位:g)。

括弧内に動物数を示した。

表-2 体重変化(雌)

投与群	投与前	投与後(日)	
		7	14
試験群	23.7±1.0 (10)	26.8±1.2 (10)	29.3±1.7 (10)
対照群	23.8±0.9 (10)	27.0±1.4 (10)	29.0±1.9 (10)

体重は平均値±標準偏差で表した(単位:g)。

括弧内に動物数を示した。

以 上